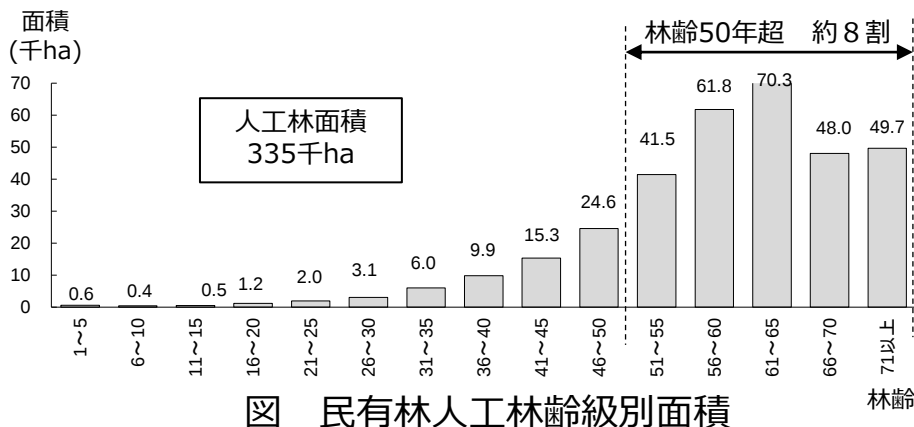


長野県の
森林の
すがた

- 長野県は、**県土の79%**を森林が占め、森林面積、森林率、人工林面積が全都道府県で**3番目**と全国有数の森林県



(長野県林務部業務資料)

森林の多面的機能は、一部の貨幣評価できるものだけでも年間3兆681億円

- 土砂災害防止／土壌保全
【1兆6,160億円】
・表面侵食防止
・表層崩壊防止 等



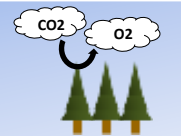
- 水源涵養【1兆2,070億円】
・洪水緩和
・水資源貯留
・水質浄化 等



- 保健・レクリエーション
【1,746億円】
・保養
・行楽、スポーツ、療養



- 地球環境保全【705億円】
・二酸化炭素吸収
・化石燃料代替エネルギー
・地球の気候の安定



- 物質生産
・木材(建築材、燃料材等)
・食料(きのこ、山菜等) 等



- 生物多様性保全
・遺伝子保全
・生物種保全
・生態系保全



- 快適環境形成
・気候緩和
・大気浄化
・快適生活環境形成



- 文化
・景観・風致
・学習・教育
・芸術
・宗教・祭礼
・伝統文化
・地域の多様性維持

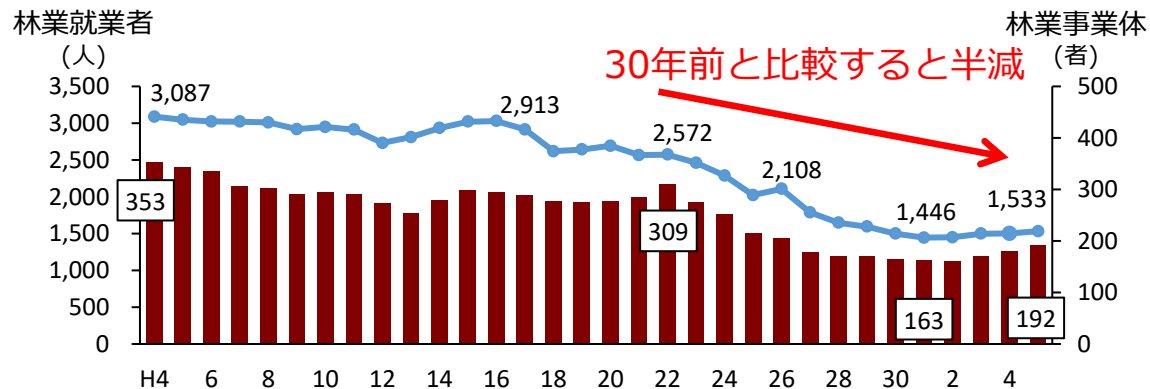


資料：日本学術会議答申「地球環境・人間生活にかかわる農業及び森林の多面的機能の評価について」及び同関連付属資料(平成13年11月)
注：【】内の金額は、森林の多面的機能のうち、物理的な機能を中心に貨幣評価が可能な一部の機能について評価(年間)したもの。
いずれの評価方法も、一定の仮定の範囲内での数字であり、その適用に当たっては注意が必要。

現状の
課題

- 長野県の森林は着実に成熟し、「育てる時代」から「**利用する時代**」へ
- 長野県の林業就業者数は、令和5年度末時点では、4年連続の増加
しかし、**長期的には減少傾向**で推移

→ 持続的な森林の維持には担い手の確保が必要



事業の
目的

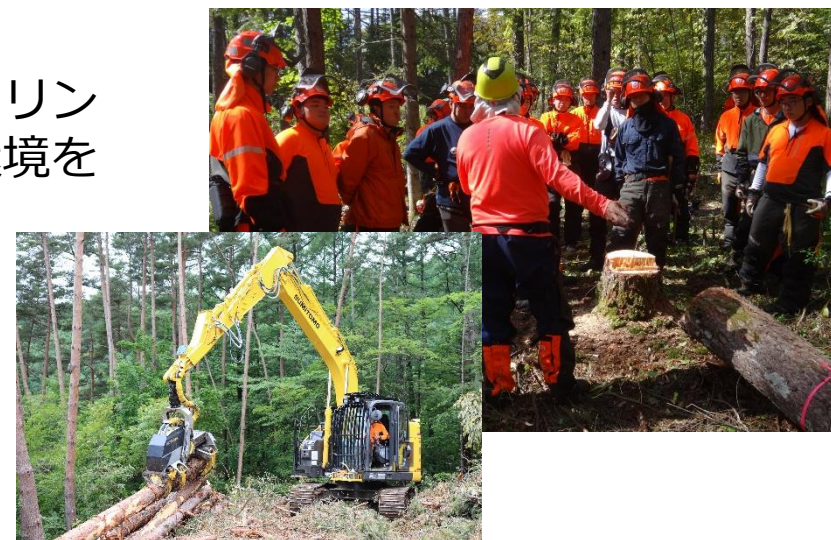
持続的な森林を維持・管理していくための担い手の確保・育成
・定着をより一層進めていくことが必要不可欠

- 林業就業者の就業環境の改善による定着の促進
- 長野県林業大学校における質の高い講義・実習の実施

事業
内容

- 林業就業者の就業環境の改善による定着促進**
振動病特殊健診受診費や蜂アレルギー検査費、エピネフリン注射器購入費等への支援を行うことで安心して働ける環境を整備します。
- 長野県林業大学校における質の高い講義・実習の実施**
機械化による効率的な作業や、高度な技術を学ぶ講義・実習により未来の森林を支える人材を育成します。

※長野県林業大学校とは
林業の専門的な知識、技術を身につけ、指導的な役割を果たす技術者及び林業後継者となる有能な人材を養成することを目的として、全寮制による行学一致の総合教育を行っている2年制の専修学校です。



得られる
成果等

○これらの取組みにより長野県の森林を支える担い手の確保・育成・定着をより一層進めていくことで、持続的な森林の維持・管理に寄与

(今までいただいた御寄附について寄附に至った経緯の御紹介)

事例1：鯉節製造に必要不可欠な薪を長野県から調達しており、寄附を通じて長野県の林業で働く人を応援することで、担い手不足や森林の適切な管理等の課題解決につなげる。

事例2：顧客との書類のペーパーレス化を図る中で、削減された分を長野県の未来の森林を支える担い手に対して寄附し、次世代に信州の豊かな森林を残したい。

寄附
による
メリット
等

○国連の持続可能な開発目標SDGsのうち「陸の豊かさを守ろう」や「パートナーシップで目標を達成しよう」などの取組みにつながる事が期待されます。

○御寄附について長野県ホームページでの公表に加え、寄附の経緯や林業を応援いただいていることを県内の林業就業者等に広く知っていただくために森林・林業の広報誌にてご紹介させていただきます。



連絡先 長野県林務部信州の木活用課 担い手係

電話番号 026-235-7274 (直通) メールアドレス rin-ninaite@pref.nagano.lg.jp